

社会福祉協議会・介護サービス事業「ゆゆうハウス」からのお知らせ

※平成十九年度事業計画・予算決定

【事業計画】

西栗倉村社会福祉協議会は地域住民の結びつきを大切に、助け合い、励まし合い、支え合いながら住んで良かった自慢のできる村づくりを目指します。

一、地域福祉活動の推進

- ・福祉バスの運行
- ・保健・医療・福祉調整会議
- ・生活福祉資金貸付事業
- ・地域福祉権利擁護事業

二、社会活動の啓蒙・普及

- ・理事会・評議員会
- ・役員研修と勉強会
- ・会員募集と会費の徴収

三、在宅福祉サービスの推進

- ・居宅介護事業
- ・福祉有償運送事業
- ・日常生活用具の貸与
- ・介護用品の斡旋

四、ボランティア活動の推進

- ・ミニヘルプサービス連絡会
- ・ボランティアセンターの充実
- ・ボランティアの発掘と育成
- ・村社協指定ボランティア活動協力校との連絡会

五、高齢者・障害者の生きがいづくり

- ・ミニシルバー人材センター事業
- ・老人クラブ・身障者協会活動への支援
- ・社協杯ゲートボール大会
- ・元気のでるふれあいスポーツ大会
- ・ひとり暮らし老人の会（ロマン会）の集い
- ・障害者の会（晴れの会）の集い



六、受託事業の管理運営

- ・介護予防・生活・地域支援事業
- ・健康・ふれあい活動事業
- ・いきいき活動支援事業
- ・軽度生活援助事業
- ・高齢者生活福祉センター（居住部門）

七、募金活動その他

- ・共同募金運動
- ・歳末たすけあい運動
- ・日赤社員増強運動



＜シルバー人材、剪定作業＞



＜理事会＞

八、西栗倉村高齢者生活福祉センター「ゆゆうハウス」

- ・指定訪問介護及び指定介護予防訪問介護事業
- ・障害者自立支援法に基づく居宅介護事業
- ・指定通所介護及び指定介護予防通所介護事業

【予算】

◇一般会計

当初予算 四、九三三、四四〇円

◇高齢者生きがい対策等事業特別会計
当初予算 一、二五八、二二〇円

◇地域福祉活動基金特別会計
当初予算 八五、七六五、五〇〇円

◇善意の窓口特別会計
当初予算 五、七五五、五〇〇円

◇ミニシルバー人材センター事業特別会計
当初予算 一〇、〇四五、五〇〇円

◇居宅介護等事業特別会計
当初予算 九〇、三〇三、三〇〇円

◇福祉有償運送事業特別会計
当初予算 四〇一、一〇〇円

西栗倉地域ならではの福祉活動推進及び介護事業を基本に「住みやすい村」「住んでみたい村」をつくるため職員が一丸となり、地域住民皆さんから信頼していただける社会福祉協議会にしたいと考えております。

《特別ご寄附いただきました》 添えられていた手紙を紹介致します

私は、大正十一年生まれ、つい先日八十五歳を迎えました。高齢化の進む村で年を重ねる一人ですが、生きがいを持って一日でも長く元気で暮らしたいと願っています。とは言うものの元気は気ばかりで折りにふれ年を感じるこの頃ですが、私には楽しみにしていることがいくつもあります。

それは、まずカラオケや一人暮らしの会に参加すること。同じ境遇や趣味を通して知れた友との歌やおしゃべりは沈みがちな自分に勇気を与えてくれます。

そしてもう一つ大きな楽しみは、毎週木曜日に届く給食サービスのお弁当です。このサービスが始まったのは平成四年と記憶しておりますが、丸々十五年が過ぎるまでになりました。お弁当の上に乗るかけ紙の川柳を読み「今日は何が入ってるかな・・・」とふたを取る時のときめき、旬の食材や季節感あふれる献立、老人向けに工夫を凝らしたお弁当には調理される方々の心がこもり味も格別です。そして、雨の中も雪の日も毎回配達して下さるボランティアの方々にもありがたい、ありがたいと思いつけてきました。

今、八十五歳を過ぎた自分の暮らしを見つめる時、一人暮らしの私はまわりの多くの方々に支えられて元気でいられることに感謝すると共に、人生はまだこれからという気持ちで挑戦を続けたいと思っています。



大茅 井上英子



＜配食弁当＞